

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年02月06日

計画の名称	森町営住宅の長寿命化と、高齢化・人口減少化に対応した安心・安全な住環境の整備（地域住宅計画）												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	森町												
計画の目標	次世代に継承できる安全で良質な住宅ストックを形成する。 災害に強く、安全で快適な住まいと住環境の実現を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	30	A	30	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H30末)
1	森町における町営住宅長寿命化計画の整備率 公営住宅長寿命化計画の整備状況等をもとに算出する。 (公営住宅長寿命化計画の整備率) = (長寿命化計画が策定された戸数) / (町営住宅戸数)	0%	100%	100%
2	町営住宅の外壁劣化による防水対策を要する棟数 町営住宅の外壁劣化の防水対策済みの棟数 (町営住宅の外壁劣化による防水対策を要する棟数率) = (改善がされた棟数) / (改善が必要な棟数)	0%	40%	100%
3	町営住宅の給排水管劣化による漏水対策を要する棟数 町営住宅の排水設備の改善済みの棟数 (町営住宅の排水設備の改善を要する棟数率) = (改善がされた棟数) / (改善が必要な棟数)	0%	0%	100%
4	町営住宅のエレベーター安全対策を要する棟数 町営住宅のエレベーターの安全対策実施済みの棟数 (町営住宅のエレベーター改善を要する棟数率) = (改善がされた棟数) / (改善が必要な棟数)	0%	0%	100%
5	森町における空き家対策計画の整備率 空家等対策計画の策定状況 (空き家対策に関する計画の整備状況)	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	森町	直接	森町	-	-	公営住宅等ストック総合改善事業	個別改善事業	森町						26		策定済	
	A15-002	住宅	一般	森町	直接	森町	-	-	空き家再生等推進事業	空家等対策計画の策定のための空家実態把握調査(町内全域)	森町						4		-	
												小計						30		
												合計						30		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

担当部署内の協議等による

事後評価の実施時期

令和2年2月

公表の方法

森町ホームページで公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・外壁の耐久性向上、排水設備の改善を行ったことにより、長期的活用を図るべき住棟で耐久性の向上や維持管理の容易性向上の観点から有効な予防保全的改善を行うことができたため、突発的な不具合に対する修繕対応に伴う入居者及び事業主体である町双方の負担が軽減したとともに、入居者等の居住の安定性が大幅に改善した。
・安全対策に問題があるエレベーターを改善したことにより、エレベーターを日常的に必要な障がいを持つ方やお年寄りの居住者の安全性を大幅に高めることができたとともに、南海トラフ地震等の大規模地震発生時においても安全なエレベーターの運用を確保できるようになった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

・空き家対策に関する計画として平成30年度に「森町空き家等対策計画」を策定し、森町における空き家等の現状や町を取り巻く状況等を考慮して定めた基本方針のもとに具体的な空き家等対策計画に基づく空き家等の問題解決に向けた各種事業を着実に推進することができるようになったため、これまで取り組みが十分でなかった地域社会で課題となっていた具体的な空き家等の問題に対して、特定空き家候補になりうる危険空き家等の所有者に対して除却の指導を行い自主的な解体除却が実現するなど、町として効果的に対応することができるようになり、町において空き家等に対する取組が前進するようになり、地域社会の住環境の改善に役立った。

特記事項（今後の方針等）

・町営住宅長寿命化計画に基づき、対症療法型の維持管理から予防保全的な維持管理及び耐久性の向上等を図る改善を実施することによって、町営住宅の長寿命化を引き続き図っていく。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	指標（公営住宅長寿命化計画の整備率）	
	最終目標値	100%
2	最終実績値	100%
	指標（町営住宅の外壁劣化による防水対策を要する棟数率）	
3	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
4	指標（町営住宅のエレベーター改善を要する棟数率）	
	最終目標値	100%
5	最終実績値	100%
	指標（空き家対策に関する計画の整備状況）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

(参考図面) 地域住宅支援

計画の名称	1 森町営住宅の長寿命化と、高齢化・人口減少化に対応した安心・安全な住環境の整備 (地域住宅計画)
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)
交付対象	森町

個別改善事業
「大門団地」「中川第2団地」「天宮団地」

空家等対策計画の策定のための空き家
実態把握調査(町内全域)

